

## 代表就任の挨拶

日頃の一般社団法人新潟県相談支援専門員協会の活動へのご理解、ご協力にまずもってこの場をお借りして感謝申し上げます。この度代表理事を拝命した江部健幸です。私自身は普段は社会福祉法人みんなでいきる地域生活支援部長として、上越市で地域包括支援センター事業他の管理者を拝命し、地域福祉の推進を目指し業務に励んでいます。

さて、当協会は平成25年2月に任意団体として設立、平成28年4月より一般社団法人化という歴史を歩んでいます。設立時からずっと「自分たちの後進は自分たちで育成しよう」「県内の相談支援体制の構築を行なっていこう」を合言葉に活動を行なってきました。現在は新潟県より相談支援従事者研修事業を受託し、これが法人運営の大きな柱となっています。

その一方で、激動の現代の中で相談支援の形も多様化し、「福祉サービスの一つ」としての様相も強くなってきています。加えて昨今の新型コロナウイルス（COVID-19）への対応で、相談支援だけでなく、あるゆるものの価値観が劇的に変化する瞬間を迎えています。

こんな時代の中、何が求められるのか、業務の進め方はどうするのか等時代に合わせて変化していかなければならないと考えています。あらゆる情報や実践を集約し、会員の皆様に提案できるよう、協会として研鑽の場を提供していきたいと考えています。

他方、相談支援専門員の業務は「相談を受ける」「サービス等利用計画を作成する」「地域を創る」という基本の3つは変わらないはずです。この3つを磨きながら福祉、教育、医療、その他の分野と自ら考え、積極的に連携できる「ソーシャルワーカー」の育成を目指し活動していきたいと思っています。

まだまだ若輩者ですが、これからもどうぞよろしく申し上げます。

令和2年6月13日

一般社団法人新潟県相談支援専門員協会

江部健幸